

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp
[HPアドレス] http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2023.12
第52号



令和5年度秋季企画展「中藤新田分水跡」開催報告

令和5年10月24日から12月17日まで令和5年度秋季企画展市重要史跡「なかとうしんでんぶんすいあと中藤新田分水跡」を開催しました。「中藤新田分水跡」は、発掘調査により玉川上水の分水跡としては稀少な「たいないぼり胎内堀」と呼ばれているトンネル状水路が地中に良好な状態で残されていることが確認されたため、地域の歴史を伝える貴重な土木遺産として令和4年9月に市の重要史跡に指定されました。(市重要史跡の指定については、第49号「新指定文化財紹介」に掲載)調査・研究段階ではありますが、市重要史跡の指定記念として現時点の調査成果を報告する速報展を開催しました。

会場入口に、胎内堀の大きさを体感してもらえるように調査トレンチの断面図を元に実寸大パネルを設置しまし

た。展示では、トンネル状水路の開削時期の古文書(写真3)や、平成16年度に行った近隣への聞き取り内容や、令和3年度の発掘調査の成果・出土遺物などを紹介しました。

(酒井 美帆)

アンケート・来館者の感想より

- ・直筆の史料により歴史が身近に感じられた。
- ・昔の人がどうやってトンネルを掘ったのかもっと知りたくなった。
- ・昔の人々が生活の問題を改善していくエネルギーを感じました。

企画展のパンフレットは武蔵国分寺跡資料館にて配布しています。(無くなり次第終了)

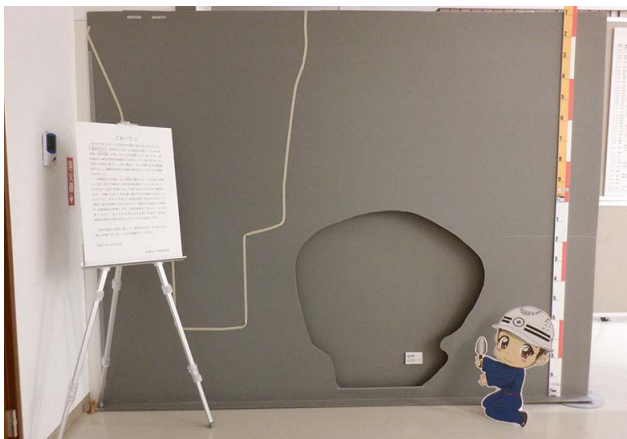


写真1 胎内堀実寸大パネル



写真2 展示風景



写真3 分水路敷一件願書(慶応4年)【川島 清家文書】



写真4 出土遺物

生体展示の紹介（宇宙メダカ）

武蔵国分寺跡資料館では、日本の宇宙開発発祥の地である国分寺市にちなみ、「宇宙メダカ」を飼育・展示しています。1994年に打ち上げられたスペースシャトル「コロンビア号」の中で、宇宙飛行士の向井千秋さんは、脊椎動物が無重力状態で子孫を増やすことができるかどうかを調べるため、メダカで生殖実験を行いました。4匹のメダカは、15日間の宇宙滞在中に43個の卵を産み、8匹のメダカが誕生しました。向井千秋さんとともに宇宙を旅したメダカとその子孫たちは「宇宙メダカ」と呼ばれて全国で飼育されています。

宇宙飛行を体験した4匹のメダカの名前は、コスモと元気、夢と未来といいます。向井千秋さんは1985年NASDA（現JAXA）の宇宙飛行士に選出されるまで2年かかりましたが、このメダカたちの選抜は準備を含めて4年もかかりました。多くのメダカは無重力になると姿勢を保つことが出来ず、すごい速さで回転してしまいます。そのような状態でも普通に泳げるメダカを選ぶために、小型ジェット機で急降下や急上昇したり、落下塔施設を使って数10秒の無重力空間を作り出

し、何回も実験を繰り返しました。そうして選別された系統の2000匹を、回転模様を識別して反応する検査で900匹に絞り込み、さらに、光の方向を背にして姿勢を正す能力の検査を日本とアメリカでそれぞれ異なる方法により実施し、優秀な個体4匹が選ばれたのです。

驚くことに、この能力は親から子へ遺伝するといえます。「宇宙メダカ」は、平衡を保つ器官が耳石より視覚優位の目の良いメダカの系統であり、無重力環境に適応し、地上と変わらない姿勢制御能力を持っているのです。いつか、「宇宙メダカ」が再び選ばれ、宇宙飛行士と共に暮らす時代が来るかもしれません。武蔵国分寺跡資料館では、元気なメダカ宇宙飛行士の予備軍が皆さまをお待ちしております。宇宙という遠く離れた世界と、身近なメダカという生き物との間にある不思議なつながりを感じさせてくれるでしょう。

なお、このメダカは、向井千秋記念子ども科学館（群馬県館林市）からゆずり受けたものです。

（相澤 勝）



産卵後の「宇宙メダカ」

参考文献：井尻 憲一『宇宙メダカ実験』（日本マイクログラフィティ応用学会誌）Vol.12 No.3 1995）

長屋門の年中飾り（秋～冬）

日本多家住宅長屋門では、市域に残る季節の行事飾りを展示しています。※展示期間は年によって異なります。



十三夜・十五夜飾り

秋の収穫に感謝し団子や栗・里芋・梨などの収穫物とススキをお供える日本各地で見られたお月見の風習

2023年9月28日（木）～10月1日（日）、10月26日（木）～29日（日）



ヨウカゾウ

12月8日、2月8日に各家に来襲する悪魔を除けるために、竿の上にかごをひっくり返して下げ屋根へ立てかける市内に残る風習

2023年12月1日（金）～8日（金）、2024年2月1日（木）～8日（木）



正月飾り

無病息災と魔除けを願い、初正月を迎える女の子には「羽子板」、男の子には「弓破魔」を飾る日本各地で見られた風習

2023年12月22日（金）～2024年1月14日（日）



うめ玉飾り

農作物や繭がたくさん得られるように願いを込め、繭に見立てた団子「うめ玉」やみかんを枝にたくさん付けて飾る市内に残る風習

2024年1月9日（火）～14日（日）

令和5年度夏季企画展「発掘された国分寺市2023」開催報告

国分寺市内には約3万5000年前の旧石器時代から現代に至る様々な時代の遺跡が存在し、46か所の埋蔵文化財包蔵地が周知されています。現在の国分寺市東元町・西元町・泉町の一部は武蔵国分寺跡の遺跡に該当し、市名の由来となる奈良・平安時代に存在した武蔵国分寺の寺院だけでなく、寺院運営に関わる施設や人の活動の痕跡を含んでいます。その範囲は広く、東側の一部、国分寺崖線沿いの台地の上では、旧石器時代・縄文時代の集落跡と考えられる多喜窪遺跡と重なり、西国分寺駅の南東側には平安時代から中世の寺院跡である恋ヶ窪廃寺が発見されています。

令和5年7月25日から9月18日まで実施した「発掘された国分寺市2023」では、令和2年度に市内で行われた発掘調査15か所のうち、「遺跡からみえる人々のくらしと知恵」をテーマに、武蔵国分寺跡の遺跡範囲内で実施した4つの調査を取り上げました。調査地点が多喜窪遺跡と重なり大量の縄文土器が発見された第758次調査を「たくさんの土器がでてきた!」、平安時代の住居跡とともに縄文時代の石鏃などの遺物や落とし穴が発見された第762次調査では「狩人たちの痕跡」、

東山道武蔵路跡をはじめ平安時代の住居跡、中世の土坑が確認された第760次調査は「様々な時代が重なり合う遺構と遺物」、瓦を側壁に利用した掘立柱建物が鍛冶工房である可能性を示した第754次調査を「古代のSDGs!?!」と、各調査地点の成果に沿った見出しをかがけて展示を行いました。

本企画展示では開催期間が子ども達の夏休みと重なっていたため、主要ターゲットを小中学生とし、展示パネルの解説等をできるだけ丁寧に表現するとともに、展示の理解を促すワークシート「遺跡探検隊」の配布や、調査地点の一部を実物大で床面に表示し、発掘現場の大きさを体感することが出来るようにしました。期間中には、夏休みの自由研究課題として来館し、間近でじっくりと大きな縄文土器を観察する子ども・学生の姿も多く見られました。(渡邊 典子)



展示風景

調査地点の一部を実寸大に印刷して表示



展示「たくさんの土器がでてきた!」

大型の土器は近くで観察できるようにケースの蓋を外して展示

(仮称)国分寺市郷土博物館建設基金について

(仮称)郷土博物館建設基本構想とは

「国分寺の名にふさわしい歴史のまち」を実現するため、「歴史のまち国分寺」について総合的に理解できる郷土博物館施設の建設をめざし、平成5年に策定されました。現在は用地選定段階にとどまっており、財政的事情により当分の間、実現することが困難な状況にあります。建設場所・施設概要・建設スケジュール等は未定ですが、国分寺の郷土の歴史に関心が高まるなか、博物館施設建設の必要性は高まっています。

(仮称)国分寺市郷土博物館建設基金とは

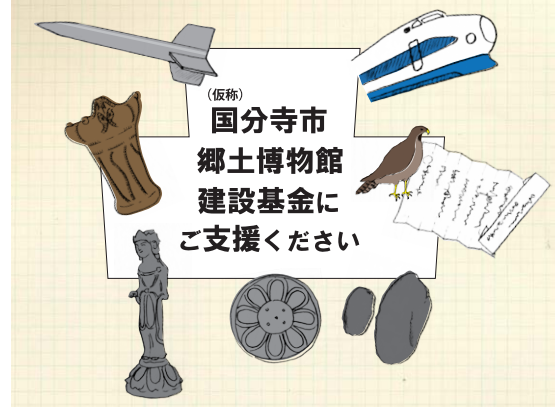
(仮称)国分寺市郷土博物館の将来の建設を見据え、平成21年に「国分寺市郷土博物館建設基金条例」が制定されました。この基金によって一歩でも構想の具体化に近づけられるよう皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

詳しくは、国分寺市公式ホームページをご覧ください。

(仮称)国分寺市郷土博物館建設基金

ページ番号：1010509

「歴史のまち国分寺」について
総合的に理解できる
郷土博物館施設の建設をめざして



寄付方法について

寄付金申込書、またはインターネット上での「さとふる」からご寄付いただけます。

詳しくは、国分寺市公式ホームページをご覧ください。

国分寺市への寄附方法(財政課)

ページ番号：1010500

湧水園コンサート「農具ミュージック」開催報告

おたかの道湧水園で11月5日(日)に湧水園コンサート「農具ミュージック」を開催しました。楽器として再生した古い農具が奏でるリズムに合わせ、サクソや篠笛のライブ演奏が行われました。湧水園の自然の中で、観客とコールアンドレスポンスも行われ、会場は大いに盛り上がりました。来年度もイベントを計画していますので、ぜひ湧水園にお越しください。



出演：岡 淳(テナーサクソ・フルート・篠笛) / 植松 透(パーカッション) / 協力：栗田 昇

歴史公園ガイドブック Ver.5 を発行しました

令和5年6月に『歴史公園ガイドブック』Ver.5を発行しました。発掘調査時の写真や歴史公園の遺構の紹介、今後の整備計画についても掲載しています。本ガイドブックは武蔵国分寺跡資料館の他、国分寺市のHPからもダウンロードできます。

[ページ番号：1024896]



第36回多摩郷土誌フェア開催のお知らせ

多摩地区から22市町が参加し、郷土・歴史・文化財に関する書籍が展示販売されるイベントです。国分寺市の書籍も販売いたしますので、この機会にぜひご来場ください。

【開催日】令和6年1月20日(土)、21日(日)

【時間】午前10時～午後5時(21日は午後3時まで)

【会場】立川市女性総合センターAIM 1階ギャラリー(立川市曙町2-36-2)

【問合せ】第36回多摩郷土誌フェア事務局 (八王子市生涯学習スポーツ部文化財課) 電話 042-629-9896

来館者数

2009年10月18日～2023年9月末日

来館者数累計 182,360名

多くのご来館ありがとうございました

【4月～9月の学校見学】

学校	人数
小学生	545
中学生	10
高校生	25
大学生	25

【来館校】市立四小(3,6年生)、武蔵台学園中分教室ひだまり学級小学部、市立六小(6年生)、市立二小(6年生)、市立八小(6年生)、市立十小(6年生)、立川国際中等教育学校、多摩市立東栗岩中学校、東京電機大学中学校・高等学校、立川女子高等学校(3年生)、早稲田大学

月	来館者数	開館日数
4	1,198	26
5	1,263	26
6	1,397	26
7	770	26
8	650	27
9	921	26
計	6,199	157

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

【電車】JR国分寺駅下車/徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車/徒歩約15分

【バス】国分寺駅下車

- 「国分寺駅西」より国分寺市地域バス『ぶんバス』万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車/徒歩約8分
- 「国分寺駅南口」より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車/徒歩約8分
- 西国分寺駅下車
- 「西国分寺駅東」より国分寺市地域バス『ぶんバス』万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車/徒歩約8分
- または、日吉町ルート「泉町一丁目」下車/徒歩約8分

※新型コロナウイルス感染症対策のため、引き続き手指の消毒にご協力ください。マスクの着用は利用者個人の判断としています。

■開館時間

午前9時～午後5時(入園は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日から1月3日まで) ※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売) 一般……………100円(年間パスポート1,000円) 中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- (1) 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき[事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。]
 - (2) 身体障害者等及びその介護者が入園するとき[発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。]
 - (3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき[事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。]
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



ホームページ 二次元バーコード